

令和8年度 学校経営計画

八王子市立長沼小学校長 富永 暢久

1 学校教育目標（目指す児童像） ※◎は今年度の重点

- 元気で明るい子ども 明るい挨拶ができ、健康で活力のある児童
- よく考え創造力のある子ども 頭をたくさん使って、学習や行動ができる児童
- ◎思いやりのある子ども 自分を大切にし、相手も大切にできる児童
- 責任を重んずる子ども 自己の役割を理解し、目標達成のために努力する児童

2 目指す学校像

児童、保護者、地域が「学校に求めるもの」は、主に以下のとおりと考える。

【児童が求めるもの】

- (1) 楽しさ 友達や先生とのかかわり 新しいことを知る 力を発揮する 等
- (2) 嬉しさ わかる できる ほめてもらえる 等
- (3) 安心感 居場所がある 認めてもらえる 仲良く過ごせる 等

【保護者が求めるもの】

- (1) 安心感 友達と仲良くしている 楽しく通っている 安全である 等
- (2) 子の成長 学力の定着・向上 生活習慣が身につく 規範意識が育つ 等
- (3) 信頼 先生が子供を理解している 対応してくれる 学校の様子がわかる 等

【地域が求めるもの】

- (1) 児童の成長 礼儀 楽しそうな姿・笑顔 地域を愛する心 等
- (2) かかわり 児童との交流 児童の見守り 地域行事への協力 学校施設利用 等

学校に求められるものを踏まえ、目指す学校像を以下のように設定する。

- ・子供たちの笑顔があふれ、安心して過ごせる学校
- ・保護者・地域と連携し、心を育てる教育が展開される学校
- ・教職員が子供たちのために生き生きと働く学校

3 目指す教職員像

「学校教育目標」及び「目指す学校像」を具現化するため、目指す教師像を以下のように設定する。また、教職員が生き生きと働くために、働き方改革として校務改善や指導の合理化を推進する。

- ・子供に愛情を注ぎ、厳しさと温かさをもった指導ができる教職員
- ・向上心を持ち、切磋琢磨する教職員
- ・保護者・地域と確かな信頼関係を築く教職員

4 中期経営目標及び今年度の達成目標と具体的方策

「学校教育目標」及び「目指す学校像」の具現化に向け、次の4項目において中期経営目標及び具体的方策を示す。

また、本校の伝統である「共育（ともいく）」の精神にのっとり、家庭・地域と共に子供を育てていく。

- (1) 『豊かな人間性の育成』
- (2) 『学力の向上』
- (3) 『体力向上と健康の保持増進』
- (4) 『信頼される学校づくり』

家庭・地域と共に子供を育てる

ともいく
「共育」

(1) 【豊かな人間性の育成】（※今年度の重点）

- 全教育活動を通して、生命を大切にし、人権を尊重する態度を育むとともに、自己肯定感・自己有用感を高める指導を行う。
- 挨拶や友達との日々のコミュニケーション、異学年間交流や地域の方々との交流活動等を通して、人間関係形成力を培うとともに、学校や地域を愛する心情を育む。

中期経営目標

▷生命や人権等を尊重する態度や規範意識を身に付ける。

●今年度の目標

▷自分も他の人も大切にしようとする態度を身に付ける。

<思いやりの心を育てる教育活動の推進>

- ①児童に「思いやりの心」を育む道德教育を計画的に行う。
- ②道德科の趣旨に基づいた日々の教育活動を、全学級において実践する。
- ③異学年交流活動（たてわり班活動）を充実させ、上学年児童には模範となる態度、下学年児童には規範意識を身に付けさせる。年間9回の縦割り班活動（遊び・集会）を行う。

<あいさつの習慣化>

- ①日々の挨拶について指導を継続し、児童の挨拶への意識を高める。
- ②美化生活委員会のあいさつ運動（通年で毎月初め）を実施する。
- ③6年生児童による挨拶キャンペーンを行うことで、6年児童のリーダーシップ及び愛校心を育む。

<環境教育の推進>

- ①環境教育の一環として、年間を通して「長沼小もったいない運動」を継続実施する。
- ②クリーンタイム（朝の清掃活動）を月1回実施し、児童の校内美化への意識を高める。

<ふるさと意識の向上>

- ①地域ゲストティーチャーを活用した授業（田畑を含む）を各学年で計画的に実施する。
- ②長沼公園や浅川での自然体験活動など、地域の自然を活用した体験活動を実施する。
- ③身近な郷土学習を通して、より地域愛を深める指導を展開する。

(2) 【学力の向上】

- 個に応じた指導や補充学習及び少人数・習熟度別指導等を通して、基礎的・基本的な内容の確

実な定着を図る。

○課題解決的な学習や体験的な学習を充実させ、思考力・判断力・表現力等を育成する。

中期経営目標

▷小中9年間の学習の系統性を踏まえ、小学校における基礎的・基本的な学力の定着を図る。

●今年度の目標

▷家庭学習の習慣を確立するとともに、主体的な学び方を身に付ける。

<教員の授業力向上>

- ①校内研究での学びを日常化することにより、教員一人一人の授業力向上を図る。
- ②打越中グループでの学力定着プロジェクトを推進し、各校の成果を共有する。
- ③主幹教諭を中心に若手教員の育成を行う。

<個に応じた指導・補充学習の実施>

- ①学校サポーター、学生ボランティア等を活用し、個別指導・支援を充実させる。
- ②「長沼タイム」及び学校運営協議会主催の「おもだか教室」で補充学習を行う。

<家庭での学習習慣の確立>

- ①家庭学習の目標時間（10分×学年）を設定し、それに沿った量の宿題等を提示する。
- ②家庭学習・生活習慣カード表を活用して家庭学習の定着キャンペーンを実施することで、保護者とともに家庭学習の定着を図る。

<読書活動の推進>

- ①朝読書（朝の10分）を実施するとともに、すきま読書を推進する。
- ②図書室で借りた本を1冊持ち帰らせ、家庭読書を励行する。
- ③「お話レストラン（毎週火曜日）」や「とんとん昔語り部の会（月1回）」など、PTA及び地域と連携して読書活動を充実させる。

(3)【体力向上と健康の保持増進】

○年間を通して体育の授業改善に努めるとともに、元気アップタイムや外遊びに取り組むことで、日常的に運動に親しむ態度を育成し、体力・運動能力の向上を図る。

○食育や健康教育を推進し、健康で活力ある生活を営む実践力を育てる。

中期経営目標

▷運動に親しむことを通して体力・運動能力を向上させるとともに、健康・安全に関する知識等を習得し、健康及び安全な生活を営む力を身に付ける。

●今年度の目標

▷運動に親しむとともに、自分の健康に留意して生活を営む態度を身に付ける。

<体力・運動能力の向上>

- ①体育授業において、自己に適したためあて学習に取り組みせるとともに、十分な運動量を確保する。
- ②元気アップタイムを工夫して、日々の体育学習や運動遊びにつなげる。
- ③昼休みを25分間に設定し、外遊びを励行する。また、ロング昼休み（45分間）を年間11回以上設定し、クラス遊びを行うなど運動遊びに親しむ機会とする。

<心身の健康>

- ①全学年で、心のSOSを発信する授業を行う。
- ②児童の些細な変化を敏感にとらえ、校内委員会（定例会は月1回、臨時会は必要に応じて実施）で対応について検討するとともに、校内での情報共有を徹底する。
- ③スクールカウンセラーを活用して児童の心の安定を図るとともに、指導改善に取り組む。

<健康教育の推進>

- ①病気の予防等についての知識を身に付ける保健指導を実施する。
- ②食事の重要性や楽しさ等を理解させ、健康につながる食育を推進する。

<働き方改革>

- ①ICTを活用し、配付物・教材ともにペーパーレス化を推進する。
- ②中・高学年で学年内教科担任制を実施する。
- ③毎週水曜日を定時退勤日、8月定時退勤月間とする。

(4)【信頼される学校づくり】

- 保護者・地域と協力し、開かれた学校づくりを実践する。
- 安全・安心な教育環境づくりを行う。

中期経営目標

▷安心・安全で信頼される学校づくりを行う。

●今年度の目標

▷子供たちが安心して過ごせる環境をつくるとともに、保護者への丁寧な情報発信を行う。

<丁寧な学級づくり・学級経営>

- ①一人一人の児童に寄り添った指導を行うとともに、児童の諸問題には、迅速に対応する。
- ②学校のきまりや学級のきまりについて定期的に指導し、児童の規範意識を高める。

<丁寧な情報発信>

- ② 学校だより・学年だより・配信メール等で、学校情報を正確に伝える。
- ②ホームページを定期的に更新し、学校生活の様子を保護者に発信する。

<いじめ未然防止の取組>

- ①「子ども見守りシート」を随時活用することにより、児童が抱える心の問題等に対し、早期対応ができるように年間を通して実施する。
- ②毎週火曜日に「学校いじめ対策委員会」（SC参加）を開催し、いじめの実態把握及び情報交換等を行い、児童の心のケアといじめの解消に向け、組織的・継続的に対応する。
- ③ふれあい月間（6月、11月、2月）を活用し、いじめに関するアンケートを実施するとともに、いじめを許さない意識を育成する。

<安全教育の推進・安全確保の徹底>

- ①計画的に安全指導と避難訓練を実施し、地域防災訓練を公開日（12月）に実施する。
- ②交通安全教室、セーフティ教室、情報モラル授業について、学年に応じた指導を行う。
- ③食物アレルギーについて、教職員間の情報共有を徹底し、適切に対応する。